

Kosen Watching

私たちの高専



久留米工業高等専門学校
機械・電気システム工学専攻2年 杉野 貴昭

私が久留米高専に入学して早7年、この高専で学んだものは何も工学の知識だけではありません。社会の常識、物事を達成した時の喜び、努力・友情・勝利・・・、挙げ出したら最早紙面が足りなくなってしまうでしょう。そんな我が愛しの久留米高専を、私の視点から紹介したいと思います。稚拙な文章ではありますが、どうぞ宜しくお付き合いください。

体育祭

久留米高専は福岡県久留米市、九州一の大河、筑後川の辺にあります。久留米市は豚骨ラーメン発祥の地であり、またゴムの街として有名な城下町です。学校への交通の便はよく、JRや私鉄の駅から自転車で10分程の場所に位置しています。周辺は、昔は一面田んぼだらけだったのですが、今では住宅地が広がり、それに伴い商業施設が開店する等、目まぐるしい発展を見せています。校舎は、数年前からバリアフリー化の工事がそこかしこで行われ、それと平行してリフォームが実施されており快適です。

学校の特色は、自由な校風である事が挙げられます。一例を挙げますと、私は幼い頃から鳥人間コンテストに憧れを抱き、いつかは出場したいと考えていました。しかし入学時はまだ鳥人間コンテスト関連の部活はなく、ないならいっそ作ってしまえという精神で、私を含む同志と共に本科5年次に愛好会を設立し、部員を集めることから始めました。その後、作業スペースの確保、資金等で学校からこの無謀というべき挑戦に暖かく支援して頂き、創部から1年後の専攻科1年次の2006年度の大会に出場しクラス5位と言う結果を残すことが出来ました。また、この間の機体の設計、製作及び交通手段や宿の手配等すべて学生主導で行いました。この様に、学生がこれをやりたい!!

という情熱を見せれば、学校側は背中を押してくれます。

また、本校は祭り好きでもあります。一年を通して行われるイベントの数も多く、中でも毎年11月に行われる高専祭(文化祭と体育祭を3日間に渡って行う行事)では、他学科や上下の学年と仲良くなるいい機会になっています。一番の盛り上がりを見せる体育祭では、同じ学科の全学年の学生が団結し、他学科としのぎを削って優勝を目指します。

学校には男子寮があります。私は、学校からそれほど離れていないところに住んでいるので寮には入っていませんが、同学年の寮生はいつも楽しそうに学生生活を満喫しています。そんな姿が時々羨ましくなります。

以上が私の目から見た久留米高専です。私は普通高校に通った事はありませんが、普通高校にはない「濃い青春」が味わえたと思っています。ああ高専人でよかった!!

所在地	福岡県久留米市	入学定員	
学 科	機械工学科		40
	電気電子工学科		40
	制御情報工学科		40
	生物応用化学科		40
	材料工学科		40
専攻科	機械・電気システム工学専攻		12
	物質工学専攻		8



久留米高専構内の風景

久留米高専

ああ高専人でよかった!!



鳥人間コンテスト



筑後川花火大会



筑後川から久留米高専を望む

沖縄工業高等専門学校
情報通信システム工学科3年 久保田 浩幸

28年ぶりに新設された日本で一番新しい国立高専。それが沖縄高専です。沖縄高専は、那覇空港から車で1時間半弱の沖縄本島の北部、名護市辺野古にあります。目の前に太平洋が広がり、後ろを辺野古岳に抱かれた高台の傾斜地に建つ、自然豊かな学校です。

学科は、機械システム工学科、情報通信システム工学科、メディア情報工学科、生物資源工学科の4学科で、メディア情報、生物資源という2つの珍しい(特長的な)学科を擁しています。

沖縄高専の自慢は、やはり新設校ということで非常に充実した設備がそろっていることです。高価な工作機械が並ぶ夢工場、校内では無線LANが使用可能で、学生は自分のノートPCでネットワークへの接続が可能です。さらに学生寮から学校へと国道上に架かるブリッジや野球場、グラウンド、体育館と充実したスポーツ設備も特長です。学生寮は9階建てで、1・2年生は全寮制です。

特徴的な授業には、英語の多読・多聴というものがあります。英語圏で出版されている児童書やGR(外国語学習者向け図書)などを辞書を使わずひたすら読む・聴く(読みまくったり聴きまくったり)という授業です。私自身、今まで2年半やってきて、今では大分長い本も読めるようになりました。英語のWebサイトなども物怖しなくなりました。これからはもっとアウトプットができるようになればなあと思っています。

また、新設校とは言っても学生はいろいろところで活躍しています。昨年はロボコン全国大会出場、プロコンの審査員特別賞受賞と二大コンテストで好成績を収めました。また、そのほかにも女子バスケットボール部の九州沖縄地区高専体育大会連覇や、日本情報オリンピックの本選突破、情報処理技術者試験資格の取得など文化・体育の両面ががんばっています。

沖縄高専の校風は、比較的自由で、沖縄で言う「てーげー(いい加減?)」な感じです。いわゆる上下関係もあまりなく、本当に力のある人が出てきやすい環境です。ひとつ残念なことは、現在の最上級生である4年生があまり学生会活動や部活動などに積極的でないことです。せっかくの5年制なので、高校生分の3年間で「はい終わり」、ではなく、高専にいる間は高専生として学校を盛り上げてもらいたいなあと思っています。私たち第2期生やこれからの後輩たちでよりよい校風を作っていかなければいけないと思います。

さて、沖縄高専は今年で4年目、来年いよいよ初の卒業生が出ます。第2期生の私たちとしては、ぜひとも先輩たちに活躍していただき、沖縄高専の名を社会に知らしめてもらいたいと思います。まだまだこれからの学校ですが、今まさに着々とできあがりつつあります。

これからの沖縄高専に期待してください!!

所在地	沖縄県名護市字辺野古	入学定員	
学 科	機械システム工学科		40
	情報通信システム工学科		40
	メディア情報工学科		40
	生物資源工学科		40

開 校/平成16年4月
専攻科/平成21年度設置に向けて準備中



沖縄で言う「てーげー(いい加減?)」な感じですよ。

沖縄高専

